



総合型選抜・学校推薦型選抜 ③小論文

③小論文

～『型』を訓練することはマスト～

～『型』を訓練すれば誰でも書けるが、問題は中身～

■希望する大学・学部の過去問を調べよう

多くの大学では設問が変わっても出題形式は毎年あまり変わりません。試験時間、解答字数、答案用紙と設問の傾向も把握しておくこと。

■小論文には『型』がある

小論文は、作文や感想文よりむしろ数学の証明に近いものです。

①自分の意見を提示

②その意見が正しいことを証明するために客観的な事実やデータなどの根拠を述べ

③結論に導きます

解答字数	序論（導入）	本論（展開）	結論（結末）
内容	自分の『論点』『意見』を提示する	自分の意見を裏付ける『理由』『根拠』を述べる	本論を踏まえ、改めて①の自分の意見を明言しまとめる
600字	60～100字（1段落）	400～500字（2～3段落）	60～100字（1段落）
800字	80～160字（1～2段落）	500～600字（2～4段落）	80～160字（1～2段落）
1200字	100～200字（1～2段落）	800～1000字（5～6段落）	100～200字（1～2段落）

■書くための材料を仕入れる

これから短期間で小論文を書くための材料—希望する学部に関連する知識をできるだけ多く蓄積しなければなりません。

今から毎日、関連する書籍やニュースなどを読み、キーワードを書き留めることを日課にしてください。次の4つが主な情報収集源になるかと思います。

①新聞 ②新書 ③ブックレット ④ツイッター(X)などのSNS やネット記事

■小論文を書く訓練

①小論文がどういうものか全くわからない場合は、まずは小論文の実例をいくつか探し、読んだり書き写してみる。

②原稿用紙1～2枚程度(400～800字)の小論文を、30分～1時間で書く練習をしてみる。

③希望する学部の関連知識を蓄積し、小論文の指導を受けてみる。